

学校給食における地産地消の取組 [愛知県・大治町]

大治町地産地消学校給食会

◆取組の状況

学校給食への地場産物の供給は、17年1月の学校給食週間を皮切りに月2回で始まり、現在では月4回まで増加。大治町は葉物野菜中心の露地栽培地域のため品目数の増加は少ないものの、給食会を始め関係者の努力により供給量は年々増加している。

生産者数は発足当時の14名のままであるが、供給量の増加に伴い協力者が10数名おり、着実に取組は拡大している。

愛知県の「学校給食地産地消推進事業」を活用し、連絡調整打合せ会議の開催、児童・生徒向けリーフレットの作成、給食アンケート、校内給食放送、地場産物を利用した給食メニューの提案等を行っている。

◆取組の効果

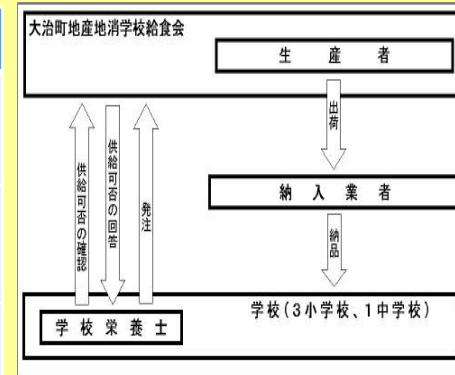
毎月児童に配布される献立表で使用する農産物の紹介や1月の学校給食週間等に給食会が校内放送をすることで地場産物への関心が高まり、給食の食べ残しの減少、児童が自ら野菜畑を見に行くなど、児童自身の食育に効果があり、保護者の給食への関心の高まりや地場産物への理解も深まっている。

◆今後の課題及び展開方向

町全域が市街化区域で宅地化が進み、農地の減少が懸念される。また、葉物野菜の露地栽培が中心であり、作柄が天候に左右されやすく出荷量が安定しないという欠点があるが、今後、給食会のメンバーや協力者を増やして、根菜類や保存性の高い野菜を扱うことにより品目数、出荷量を増やし、地産地消を推進したい。

組織等の概要

構成員	農産物直売所 「元気朝市おおはる」 会員19名
供給先	小学校3校(2,017名) 中学校1校(794名) 計4校(2,811名)
補助事業	H16 学校給食地産地消推進事業(県)



地場産物の年間供給量(年間供給回数)

品目名	H16年度	H17年度	H18年度
小松菜	223kg(4回)	882kg(19回)	1,650kg(33回)
ほうれんそう	221kg(7回)	530kg(11回)	530kg(11回)
モロヘイヤ	—	52kg(4回)	20kg(4回)
たまねぎ	—	—	29kg(1回)
とうがん	—	—	206kg(1回)



大治町地産地消学校給食会会員



農産物の受け渡しの様子